

# 幼児の教育 第七十四卷 総目録

私の保育 菱川 敦子

七十歳でモンテッソーリに「出会った」偶然とその人間的背景を語る

◆ 一月  
萩の露 千谷 七郎

幼稚園の保育内容における  
自由遊びの変遷（III） 西本 優

楽しく、かつきびしい教育学  
—倉橋惣三先生にまなぶ—宮坂 広作

日本の保育とエ・エル・ハウ女史  
高野 勝夫

小林 トミ  
佐藤 文子

幼児のお弁当  
心理療法と幼児教育のかかわり  
落とし穴としての「発達に応じた指導」

南館 忠智  
河井多喜子

洋書紹介  
出会いーその二ー

江波 謙子  
赤間 峰子

生命をかづぐって重いなあ  
旅・発達（一）

津守 真  
福井 達雨

「家なき幼稚園の主張  
より（八）

きき手 周郷 博  
串田 孫一  
神沢 良輔

◆ 二月  
灰神樂 思い出三つ

私の幼児教育論Ⅴ  
幼稚園誕生百年を迎えて思うこと

◆ 三月  
前野 紀一  
山村 きよ  
周郷 博  
浅井 徳子  
塙田 幸子  
江波 謙子  
山道 俊子  
森田 宗一  
川崎 千束  
長山 篤子  
南館 忠智  
赤間 峰子  
津守 真  
福井 達雨  
塙田 幸子  
畠中 徳子  
南館 忠智  
赤間 峰子  
津守 真  
福井 達雨  
牛島 義友  
外山滋比古

雪・泡・焼物  
倉橋惣三選集第四卷より  
“幼児保育の藝術性”をめぐって  
盲児とともに  
子どもの生きがい  
洋書紹介  
「児童における人間性の研究」を読んで  
落ちついたのか  
動物園のおばさん記  
あやまる教育を  
始まり  
ろくろ  
遊びをめぐる夢想（その一）  
—「始まり」を探る— 本田 和子  
「始まり」をめぐって一人間の発達  
との関連で—

◆ 四月  
黒田 実郎  
佐貫 亦男  
山田徳兵衛  
山田徳兵衛  
考える  
空を飛ぶ

「始まり」について 田中 祐次

気になる始まりと気がつかぬ始まり

私の保育 利島 保

私の保育 太田知恵子

私の保育 菊地ふじの

私の保育 堀合 文子

私の保育 大多和 檻

私の保育 黒田 実郎

私の保育 神沢 良輔

私の保育 韓国幼稚園教育の発達

私の保育 障害児と共に

私の保育 幼児の遊びに関する四つの断章

私の保育 講演 幼児との教育について思うこと

私の幼児教育論Ⅳ

遊びをめぐる夢想（その二）

はじめ 「変身」の系譜

はじめ 和子

はじめ 修子

はじめ 李相琴

はじめ 佐伯幸雄

はじめ 山村きよ

はじめ 南館忠智

はじめ 本田和子

はじめ 村田修子

はじめ 李相琴

はじめ 佐伯幸雄

はじめ 津守真

はじめ 沖縄だより

はじめ 清水光子

はじめ 根田正子

はじめ 阿部房子

はじめ 岩谷省

幼児にとっての「自分」

南館忠智

山本秀子

早川満寿子

大橋利恵子

李相琴

佐伯幸雄

津守真

山村きよ

福井達雨

幼な児をはぐくむ自然 私の保育	室谷 幸吉
"始まり"と"初め" 保育の心の初め	平野 信子
始まり	渡辺 祝子
公平について	中村美智子
おい抜かされる喜び	赤間 峰子
◆ 八月	津守 真
幼児期における平和教育（2）	福井 達雨
別れについて	荘司 雅子
立ちどまる	谷川俊太郎
遠藤 悟朗	外山滋比古
守永 英子	遠藤 悟朗
幼児教育に"ゆとり"と"ゆめ"と "ゆたかさ"を	外山滋比古
私の幼児教育論Ⅹ	谷川俊太郎
問題児の幼児期	遠藤 悟朗
一登校拒否児を中心に—	外山滋比古
たちどまる	遠藤 悟朗
たちどまる	守永 英子
さあ幼稚園よ	守永 英子
私の保育のはじまりーあたらしく入つて 来た子どもたちをめぐつてー	依田満寿美
ある木曜日ー高校生と保育園の子どもー	依田満寿美
立ちどまる	寺井 久美
立ちどまる	秋山 達子
服部 公一	斎藤みちよ

失われた立ちどまるムダ 立ちどまる	利島 保
「それぞれの子どもしさを 求めて」より（一）	宮川 せい
倉橋惣三先生の思い出	島沢 良子
一古いノートから	赤間 峰子
「家なき幼稚園との実際」より（十）	赤間 峰子
二つの自分	津守 真
◆ 九月	津守 真
太鼓打ち	木島 始
「子どもの見かた」の意義	鬼丸 吉弘
私の幼児教育論X	鬼丸 吉弘
問題児の幼児期	神沢 良輔
たちどまる	篠崎 忠男
たちどまる	芝 恭子
たちどまる	伊豆山明子
さあ幼稚園よ	伊豆山明子
私の保育のはじまりーあたらしく入つて 来た子どもたちをめぐつてー	依田満寿美
立たちどまる	大場 牧夫
二学期を迎える新入園児について思う	大場 牧夫
西本 美節	石川 章子

私がとつての保育のはじまりー子どもたちの動きに一時代の音楽を期待するー	松沢 孝博
私の保育のはじまりーあたらしく入つた 子どもをめぐつてー	小野真理子
幼児と音楽	岡先生とおはなしえほん
一岡 政先生を悼むー	後藤 千枝
マリアさんを再びお迎えして	赤間 峰子
◆ 十月	赤間 峰子
おとなのはじまりー幼時と音楽ー	利根川 裕
幼児教育に"ゆとり"と"ゆめ"と "ゆたかさ"を	松隈 玲子
私の幼児教育論XI	神沢 良輔
保育における子どもの「自由」	神沢 良輔
うつかりしている時ー倉橋惣三選集より うつかり笑つて	西野紀代子
ある日のできごとから	光木 美子
倉橋先生と共に	田坂 ユキ
私の保育	村石 京子

講演 母なる大地を求めて 周郷 博

さかたのぶこ

お誕生会

無木 寿江

「家なき幼稚園の主張」と実際 より (十一)

利島 保

倉橋賞を受賞して 利島 保

利島 保

「家なき幼稚園の主張」と実際 より (十二)

高木 良子

「それぞれの子どももらしさを  
求めて」より (二)

赤間 峰子

◆ +十一月

外山滋比古

くりかえし

松隈 玲子

お茶の水女子大学附属幼稚園内  
編集兼発行者 津 守

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一  
お茶の水女子大学附属幼稚園内

真

私の絵本  
くりかえし

牛島 義友

「ゆたかさ」を

神沢 良輔

森下 博三

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一  
お茶の水女子大学附属幼稚園内  
編集兼発行者 津 守

真

幼児教育に "ゆとり" と "ゆめ" と  
私の絵本  
くりかえし

瀬名 恵子

「ゆたかさ」を

関 治子

酒井 恒

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一  
お茶の水女子大学附属幼稚園内  
編集兼発行者 津 守

真

講演 "ゆたかさ" を

松隈 玲子

幼児教育に "ゆとり" と "ゆめ" と  
私の絵本  
くりかえし

森下 博三

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一  
お茶の水女子大学附属幼稚園内  
編集兼発行者 津 守

真

周郷先生の講演をきいて  
周郷先生の講演をきいて

清水 光子

幼児の遊びに "ゆとり" と "ゆめ" と  
私の絵本  
くりかえし

池田 義徳

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一  
お茶の水女子大学附属幼稚園内  
編集兼発行者 津 守

真

講演 大事な小さいこと  
私の保育

本田 和子

幼児の遊びに "ゆとり" と "ゆめ" と  
私の絵本  
くりかえし

利島 保

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一  
お茶の水女子大学附属幼稚園内  
編集兼発行者 津 守

真

講演 大事な小さいこと  
私の保育

近藤千恵子

幼児の供述心理 (その一)  
くりかえし

利島 保

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一  
お茶の水女子大学附属幼稚園内  
編集兼発行者 津 守

真

講演 大事な小さいこと  
私の保育

池田 義徳

「それぞれの子どももらしさを  
求めて」より (四)

津守 真

101 東京都千代田区神田小川町三ノ一  
印刷所 株式会社 フレーべル館

真

講演 大事な小さいこと  
私の保育

利島 保

「それぞれの子どももらしさを  
求めて」より (二)

101 東京都千代田区神田小川町三ノ一  
印刷所 株式会社 フレーべル館

真

講演 大事な小さいこと  
私の保育

利島 保

「それぞれの子どももらしさを  
求めて」より (三)

101 東京都千代田区神田小川町三ノ一  
印刷所 株式会社 フレーべル館

真

「それぞれの子どももらしさを  
求めて」より (三)

101 東京都千代田区神田小川町三ノ一  
印刷所 株式会社 フレーべル館

真

幼児の遊びに働く認知機能の条件分析

的研究 (その一)

利島 保

101 東京都千代田区神田小川町三ノ一  
印刷所 株式会社 フレーべル館

真

ベルギーからの便り

利島 保

101 東京都千代田区神田小川町三ノ一  
印刷所 株式会社 フレーべル館

真

「家なき幼稚園の主張」と実際 より (十二)

赤間 峰子

101 東京都千代田区神田小川町三ノ一  
印刷所 株式会社 フレーべル館

真

◆ +十二月

高木 良子

101 東京都千代田区神田小川町三ノ一  
印刷所 株式会社 フレーべル館

真

くりかえし

外山滋比古

101 東京都千代田区神田小川町三ノ一  
印刷所 株式会社 フレーべル館

真

昭和五十年十一月二十五日印刷

昭和五十年十二月 一日発行

101 東京都千代田区神田小川町三ノ一  
印刷所 株式会社 フレーべル館

真

幼児の教育 第七十四卷第十二号

十ニ月号 ◎ 定価二〇〇円

印 刷 所 発 行 所

第七十四卷総目録

101 東京都千代田区神田小川町三ノ一  
印刷所 株式会社 フレーべル館

真

◎本誌御購読についての御注文は発売  
所フレーベル館にお願いいたします

真

\*万一製品不良本がございましたら、おとりかえいたします。